

羊蹄山ろく消防組合 地域を守る最前線

羊蹄山ろく消防組合では、平成 24 年の高機能消防指令システムの運用開始以降、管轄地域すべての 119 番通報を消防本部指令センター（倶知安町）で受け付けています。

それにより、災害発生町村や近隣町村の消防車・救急車を早期に出動させることができ、通報から現場に到着するまでの時間の短縮、被害の拡大防止に繋がっています。

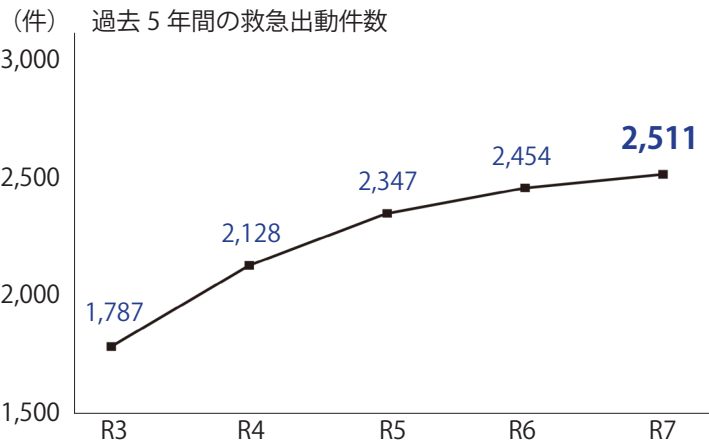
今回の特集では、指令センターの役割や現状、そして地域防災を支える倶知安消防団、未来を担う倶知安少年消防クラブの活動について紹介します。

● 指令センターの役割

指令センターは、119 番通報の受付から消防車・救急車の出動指令までを一括して行う「心臓部」です。24 時間 365 日体制で、通報内容から災害場所や状況を迅速に把握し、最寄りの部隊へ指令を出しています。



● 救急出動件数の増加



令和 7 年の羊蹄山ろく消防組合における救急出動件数は 2,511 件で、外国人観光客の増加、気候変動、生活環境の変化など、さまざまな要因から年々増加傾向にあります。

同組合では計 6 台の救急車（うち 1 台は予備車）を配備していますが、救急需要が高まる冬季には、6 台すべてが同時に出動中となることもあります。

救急車の適正利用にご協力を

救急出動のうち、入院を必要としない軽症者からの要請が 4 割以上を占めています。

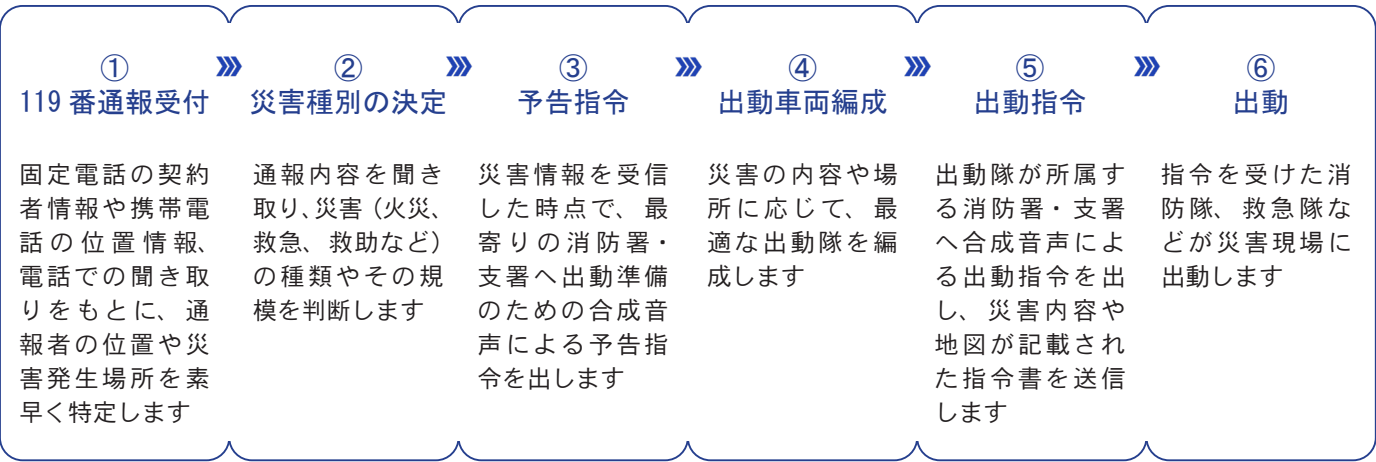
救急車は限りある医療資源です。緊急性の高い重症者に迅速な支援を届けるため、救急車の適正利用にご協力をお願いします。

外国語通報への対応

英語での通報は「外国語通訳サポーター」という職員 4 名が対応し、英語以外の通報はコールセンターとの 3 者接続を行い、通訳を介して情報の聞き取りを行います。

また、各町村の役場職員・消防団員に対して「外国語通訳サポーター」の委嘱・任命をしています。

● 通報から出動まで 119 番通報を受けてから出動隊が出動するまでの流れを紹介します



指令員インタビュー

迅速かつ正確に必要な支援を必要とする人のもとへ

羊蹄山ろく消防組合消防本部 指令課指令係 係長 おちあい ひろゆき 落合 浩之 さん

指令員として心がけていることは？

まずは、119 番受付から指令までを迅速に行うことです。多くの場合、通報から 1 分～1 分半以内に出動指令が出されています。

次に、救急車を向かわせる場所を正しく聞き取ることです。焦っている方、土地勘のない旅行者、外国人などさまざまな方から正確に住所を聞き出し、場所を決定することに最も神経を使います。

そしてもう一つは、口頭指導です。救急車が到着するまでの間、電話越しに応急手当の指導を行うことを「口頭指導」といい、呼びかけに反応がない、普段通りの呼吸がない場合は心臓マッサージ（胸骨圧迫）、出血がある場合は圧迫止血、やけどの場合は冷却の実施などを依頼します。

その場にいる人が応急手当を行うことで、救える命があります。通報者や周囲の人に応急手当の必要性和、その方法を正確に伝えることに力を入れています。

羊蹄山ろく地域特有の課題はありますか？

スキーシーズンの 1 月、2 月は 119 番通報の 10 件に 1 件が外国語での通報です。内容は救急のほか、場所の特定が難しい山岳救助も含まれています。

ただ、英語での通報だからといって、指令までに大きな遅延は生じていません。職員の対応により日本語での通報と大差ない対応ができることが、本指令センターの大きな強みです。

令和 7 年 救急出動件数（月別）

冬の件数は夏の 1.5 倍～2 倍

月	件数
1 月	349
2 月	301
3 月	289
4 月	149
5 月	153
6 月	144
7 月	166
8 月	181
9 月	182
10 月	166
11 月	158
12 月	273

外国語 119 番通報件数（年別）

令和 7 年の外国語通報は過去最多 162 件

年度	件数
H28	21
H29	33
H30	58
H31	78
R2	40
R3	6
R4	33
R5	90
R6	110
R7	162

倶知安消防団

地域の安全を守る、身近な存在

地域を支える「自助・共助の力」

消防団係では、消防署と合同で行う全体訓練や分団ごとの訓練を通じて、団員が有事のときに安全かつ確実に活動できるよう、指導を行っています。

倶知安消防団は5分団で構成され、定数130名に対し126名が在籍という、全国的には珍しい高い充足率を維持しています。団員は40代～50代が中心で、20代～30代の若い世代の少なさが課題です。

団員は、報酬が支給される「特別職の地方公務員」であり、副業制限に違反しません。主な任務は消火活動における水の確保などの後方支援ですが、地震や水害時の避難誘導や救助活動の役割も期待されています。

現在は、自らの地域は自ら守るという、町民の「自助・共助」の精神に支えられていますが、今後は郊外地区の担い手不足解消や若年層への魅力発信が重要と考えています。広報活動を通じ、地域を守る消防団活動への理解と関心を高められるよう努めていきます。



羊蹄山ろく消防組合
倶知安消防署 消防団係
係長 碓 内輔 さん

倶知安少年消防クラブ

未来のレスキュー隊、ただいま訓練中！

倶知安町少年消防クラブは、町内の小学5・6年生で構成され、今年度は39名の児童が所属しています。子どもたちから消防を身近に感じ、火災予防や災害時の対応などを学ぶことにより、防火・防災意識の向上を図ることを目的としています。

主な活動

- 学習会の実施（月1回）
- 消火器の取り扱い
- 災害時の迅速な避難の方法
- 応急処置
- 火気取り扱い訓練
- 放水体験や救助訓練 など

令和8年消防演習で 学習の成果を披露



6月27日に実施された消防演習にて、熱中症対策や一次救命処置、消火器の取り扱いについて、訓練の成果を披露しました。

これらの活動を通じて自身や周囲の命を守るための知識と行動力を培います。

消防クラブの活動を通じて、積極的な地域防災活動への参加や消防職員、消防団員を目指すきっかけに繋がることを期待しています。



119番通報のしかた（救急）

落ち着いて、次のことを伝えてください

- ① 救急であることを伝える



119番通報をしたら、まず「救急です」と伝えてください。

- ② 救急車に来てほしい住所を伝える



必ず「市町村名」から伝えてください。住所が分からないときは、近くの大きな建物や交差点など、目印になるものを伝えてください。

- ③ 具合の悪い人の症状を伝える



誰が、いつから、どのような症状があるのか、どのような様子を簡潔に伝えてください。分かる範囲で意識や呼吸の有無を伝えてください。

- ④ 具合の悪い人の年齢を伝える



具合の悪い人の年齢を教えてください。分からないときは「60代」など、おおよそでいいので伝えてください。

- ⑤ あなたの名前と連絡先を伝える



通報しているあなたの名前、通報後も連絡可能な電話番号を教えてください。場所が分からない場合などに問い合わせることがあります。

119番通報をすると、指令員が救急車の出動に必要なことを順番にお聞きします。通話中でも救急車はもう現場に向かっています。焦らずに、ゆっくりと答えてください。



こんなときは救急車を呼んでください

ためらわずに、119番を！

緊急性が高い症状の例

- ・顔半分が動きにくい、しびれる
- ・激しい腹痛
- ・笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ・便に血が混ざる、真っ黒い便が出る
- ・ろれつがまわりにくい、うまく話せない
- ・意識、返事がない
- ・視界が狭くなる
- ・けいれん
- ・手足のしびれ
- ・冷や汗を伴うような強い吐き気
- ・片方の腕や足に力が入らなくなる
- ・物をのどにつまらせて呼吸が苦しい
- ・突然の激しい頭痛、高熱
- ・大量の出血を伴うけが
- ・立てないくらい急にふらつく
- ・広範囲のやけど
- ・急な息切れ、呼吸困難
- ・交通事故に遭った
- ・胸の中央が締め付けられる
- ・水におぼれている
- ・圧迫されるような胸の痛み
- ・高いところから落ちた など

本当に必要？
迷ったときは「Q助」に相談を



「Q助」は救急車を呼ぶかどうか判断に迷ったときに、症状を選択することで緊急度を判定してくれる無料アプリです。



iOS版



Android版

子どもの場合、保護者の方から見て、いつもと様子が違うときはすぐに119番をしてください。